

## HPE OpenVMS for Integrity Servers

---

# アップデート・キット VMS84I\_UPDATE V1200 リリース・ノート

2017 年 1 月

本書では、OpenVMS Integrity V8.4 に対するアップデートキットである VMS84I\_UPDATE-V1200 の概要、インストール方法、および本キットにより修正される問題点について説明しています。

日本ヒューレット・パカード株式会社

---

© 2017 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の著作権は Hewlett Packard Enterprise Development LP が保有しており、本書中の解説および図、表は Hewlett Packard Enterprise Development LP の文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パッカーは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア (対象ソフトウェア) は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

日本ヒューレット・パッカーは、弊社または弊社の指定する会社から納入された機器以外の機器で対象ソフトウェアを使用した場合、その性能あるいは信頼性について一切責任を負いかねます。

Confidential computer software. Valid license from HPE and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying.

Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Neither HPE nor any of its subsidiaries shall be liable for technical or editorial errors or omissions contained herein. The information in this document is provided "as is" without warranty of any kind and is subject to change without notice. The warranties for HPE products are set forth in the express limited warranty statements accompanying such products. Nothing herein should be construed as constituting an additional warranty.

#### DISCLAIMER OF WARRANTY AND LIMITATION OF LIABILITY

THIS PATCH IS PROVIDED AS IS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND. ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT, ARE HEREBY EXCLUDED TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. IN NO EVENT WILL HPE BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE OR PROFIT, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, WITH RESPECT TO ANY PATCH MADE AVAILABLE HERE OR TO THE USE OF SUCH PATCH.

原典：本書は『HPE OpenVMS Update Kit for Integrity Servers VMS84I\_UPDATE-V1200 ECO Cover Letter』と各パッチキットのリリース・ノートの情報をもとに作成しています。

---

# 目次

まえがき	vii
<b>1 キットの概要</b>	
1.1 本アップデートキットの概要	1-1
1.2 キット名	1-1
1.3 キットの説明	1-1
1.3.1 インストールの必要性	1-1
1.3.2 リブートの必要性	1-2
1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン	1-2
1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート	1-2
1.4 本キットにより旧版となるキット	1-2
1.5 依存するキット	1-2
1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット	1-3
<b>2 インストールに関する注意事項</b>	
2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ	2-1
2.2 圧縮ファイルの展開	2-1
2.3 インストールのためのコマンド	2-1
2.4 インストール時のプロンプト表示の制御	2-2
2.5 VMS84I_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて	2-3
<b>3 VMS84I_UPDATE-V1200 キットで提供される新機能および解決される問題</b>	
3.1 新機能	3-1
3.1.1 VMSSLPBEGIN-050_STARTUP.COM に SSL1 スタートアップを追加	3-1
3.2 解決される問題	3-2
3.2.1 追加型バックアップの復元中に RMS-F-SYN エラー	3-2
3.2.2 BACKUP/INTERCHANGE で、BACKUP-E-CREDIRERR エラー	3-2
3.2.3 バックアップは、大きなディレクトリでは ODS-5 を ODS-2 に完全に交換できません。	3-3
3.2.4 イメージバックアップで、ターゲットディスクへの復元後にマウントポイントを複製しない	3-3
3.2.5 BACKUP で <input_files> 修飾子に指定されたファイル名に特殊文字があると正しく解析できない問題</input_files>	3-4
3.2.6 追加型バックアップの復元で%BACKUP-E-INCDELERR エラー	3-4
3.2.7 追加型バックアップの復元で%RMS-F-SYN エラー	3-4

3.2.8	ファイルヘッダーの不完全なファイル名の訂正 .....	3-5
3.2.9	F11BXQP でのスタック破壊による SSRVEXCEPT バグチェック .....	3-6
3.2.10	ボリュームの拡張に対して ILLBLKNUM エラー .....	3-7
3.2.11	I/O データベースの Mutex 競合によるパフォーマンスの低下 .....	3-7
3.2.12	ディスククォータ使用の場合に F11BXQP で XQPERR バグチェック...	3-8
3.2.13	ANALYZE/DISK 実行中にアクセス違反が発生 .....	3-8
3.2.14	Intel 1G カードを搭載した Integrity サーバシステムで、ジャンボパ ケットを受信するとシステムクラッシュ .....	3-9
3.2.15	論理 LAN デバイスで、手動 LAN フェイルオーバーを実行すると、時々 プライマリデバイスが起動しない .....	3-9
3.2.16	VC モジュールの電源をオフ/オンすると、一部の LAN リンクがアップし ない .....	3-10

#### 4 OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキットについての情報

##### A 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

###### 表

1-1	本アップデートキットに含まれるキット一覧 .....	1-3
-----	----------------------------	-----

## 本書の目的

本書では、VMS84I\_UPDATE-V1200 のインストール方法と、本キットにより修正される問題点について説明しています。

## 対象読者

本書は、システム管理者を対象としています。

## 本書の構成

本書の構成は次のとおりです。

第 1 章	本アップデートキットについて概要を説明しています。
第 2 章	本アップデートキットのインストールに関する注意事項について説明しています。
第 3 章	本アップデートキットにより修正される問題点について説明しています。
第 4 章	本アップデートキットに含まれているパッチキットのリリースノートについて説明しています。
付録 A	本アップデートキットのインストールにより修正されるファイルの一覧を示しています。

## 関連資料

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0600 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0700 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0800 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V0900 リリース・ノート』
- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V1000 リリース・ノート』

- 『HP OpenVMS Integrity アップデート・キット VMS84I\_UPDATE-V1100 リリース・ノート』

これらのドキュメントは下記の URL で参照できます。

<http://h50146.www5.hpe.com/products/software/oe/openvms/manual/>

## 本書で使用する表記法

本書では、下記の表記法を使用します。

表記法	意味
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
PF1 x	PF1 x という表記は、PF1 に定義されたキーを押してから、別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Return</span>	例の中で、キー名が四角で囲まれている場合には、キーボード上でそのキーを押すことを示します。テキストの中では、キー名は四角で囲まれていません。 HTML 形式のドキュメントでは、キー名は四角ではなく、括弧で囲まれています。
...	例の中の水平方向の反復記号は、次のいずれかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 文中のオプションの引数が省略されている。</li> <li>• 前出の 1 つまたは複数の項目を繰り返すことができる。</li> <li>• パラメータや値などの情報をさらに入力できる。</li> </ul>
.	垂直方向の反復記号は、コードの例やコマンド形式の中の項目が省略されていることを示します。このように項目が省略されるのは、その項目が説明している内容にとって重要ではないからです。
( )	コマンドの形式の説明において、括弧は、複数のオプションを選択した場合に、選択したオプションを括弧で囲まなければならないことを示しています。
[ ]	コマンドの形式の説明において、大括弧で囲まれた要素は任意のオプションです。オプションをすべて選択しても、いずれか 1 つを選択しても、あるいは 1 つも選択しなくても構いません。ただし、OpenVMS ファイル指定のディレクトリ名の構文や、割り当て文の部分文字列指定の構文の中では、大括弧に囲まれた要素は省略できません。
[   ]	コマンド形式の説明では、括弧内の要素を分けている垂直棒線はオプションを 1 つまたは複数選択するか、または何も選択しないことを意味します。
{ }	コマンドの形式の説明において、中括弧で囲まれた要素は必須オプションです。いずれか 1 のオプションを指定しなければなりません。
太字	太字のテキストは、新しい用語、引数、属性、条件を示しています。
<i>italic text</i>	イタリック体のテキストは、重要な情報を示します。また、システム・メッセージ (たとえば内部エラー <i>number</i> )、コマンド・ライン (たとえば <i>PRODUCER=name</i> )、コマンド・パラメータ (たとえば <i>device-name</i> ) などの変数を示す場合にも使用されます。

表記法	意味
UPPERCASE TEXT	英大文字のテキストは、コマンド、ルーチン名、ファイル名、ファイル保護コード名、システム特権の短縮形を示します。
Monospace type	<p>モノスペース・タイプの文字は、コード例および会話型の画面表示を示します。</p> <p>C プログラミング言語では、テキスト中のモノスペース・タイプの文字は、キーワード、別々にコンパイルされた外部関数およびファイルの名前、構文の要約、または例に示される変数または識別子への参照などを示します。</p>
-	コマンド形式の記述の最後、コマンド・ライン、コード・ラインにおいて、ハイフンは、要求に対する引数とその後の行に続くことを示します。
数字	特に明記しない限り、本文中の数字はすべて 10 進数です。10 進数以外 (2 進数, 8 進数, 16 進数) は、その旨を明記してあります。





---

## キットの概要

---

### 1.1 本アップデートキットの概要

本アップデートキットの概要は以下のとおりです。

対象バージョン:	OpenVMS for Integrity Servers V8.4
キットサイズ:	327030 ブロック
インストレーション・レーティング:	INSTALL_1
リブートの必要性:	必要
インストレーションに関する注意事項:	無
本キットにより旧版となるキット:	VMS84I_UPDATE-V1100
依存する必須キット:	VMS84I_PCSI-V0400 (あるいはそれ以降の PCSI アップデートキット)
オプションの依存キット:	無し

#### チェックサム:

```
VMS84I_UPDATE-V1200.ZIPEXE Checksum: 533641413
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1200--4.PCSI$COMPRESSED Checksum: 3415739325
VMS84I_UPDATE-V1200.ZIPEXE MD5 Checksum:
                                C1D454B899E1FC6DF6EDF50B5BE691C3
HP-I64VMS-VMS84I_UPDATE-V1200--4.PCSI$COMPRESSED MD5 Checksum:
                                073B756D35C63CBF74208B512CB1DB41
```

---

### 1.2 キット名

本キットのキット名は以下のとおりです。

- VMS84I\_UPDATE-V1200

---

### 1.3 キットの説明

#### 1.3.1 インストレーションの必要性

インストール・レーティング	説明
INSTALL_1	対象ユーザーは全ユーザーです。すべてのシステムでインストールが必要です。

現在の CLD 情報に基づいて示されたこのインストレーション・レーティングは、この修正キットの適用が必要なシステムについて示しています (本書のコピーライト情

## キットの概要

### 1.3 キットの説明

報のページの Disclaimer of Warranty and Limitation of Liability Statement を参照)。

#### 1.3.2 リブートの必要性

本パッチのインストール時にはリブートが必要になります。

システムが不安定になるのを防ぐために、キットのインストール直後にリブートすることを強くお勧めします。OpenVMS クラスタ環境内に他のノードが存在する場合は、新しいイメージを使用するようにそれらのシステムもリブートする必要があります。クラスタ全体のリブートが不可能あるいは不都合がある場合は、ローリング・リブートの実行を検討してください。

#### 1.3.3 このキットを適用する OpenVMS のバージョン

本キットは OpenVMS の下記のバージョンに対して適用してください。

- OpenVMS for Integrity Servers V8.4

#### 1.3.4 新機能および新しいハードウェアのサポート

このアップデートキットでサポートする新しいハードウェアはありません。

このアップデートキットでは以下の新機能をサポートします。

- VMS\$LPBEGIN-050\_STARTUP.COM に SSL1 スタートアップを追加 (第 3.1.1 項)

---

## 1.4 本キットにより旧版となるキット

本キットは、下記のアップデートキットの後継キットです。

- VMS84I\_UPDATE-V1100

---

## 1.5 依存するキット

本キットあるいは必要なキットをインストールする前に、以下の修正キット (あるいはその後継の修正キット) をインストールしておく必要があります。

- VMS84I\_PCSI-V0400

## 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

VMS84I\_UPDATE-V1200 キットは、これまでに OpenVMS for Integrity Servers V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。VMS84I\_UPDATE-V1200 キットに含まれているキットの一覧は表 1-1 のとおりです。

なお表 1-1 では、以前のバージョンの VMS84I\_UPDATE キットでも同じパッチキットが提供されている場合は、そのアップデートキット名を示してあります。

表 1-1 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されている場合、そのキット名
VMS84I_ACMELDAP-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_ACRTL-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_BACKUP-V0200	
VMS84I_DCL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_DDTM-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_DEBUG-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0600)
VMS84I_DRIVER-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_ENCRYPT-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_F11X-V0300	
VMS84I_FIBRE_SCSI-V0800	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_FORRTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_IPC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_IVMSLOA-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_JOBCTL-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_LAN-V0500	
VMS84I_LDAP-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_LIBOTS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_LMF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_LOADSS-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_LOGINPLUS-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0700)
VMS84I_MANAGE-V0200	
VMS84I_MIME-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MOUNT96-V0200	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_MSCP-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_MUP-V0500	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RAMDISK-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_RMS-V0500	(VMS84I_UPDATE-V1000)

(次ページに続く)

## キットの概要

### 1.6 本アップデートキットに含まれるパッチキット

表 1-1 (続き) 本アップデートキットに含まれるキット一覧

キット名	以前の UPDATE キットでも提供されている場合、そのキット名
VMS84I_SECSRV-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1000)
VMS84I_SHADOWING-V0300	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_SORT32-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0800)
VMS84I_SYS-V0500	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_SYS-V0600	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_SYSLOA-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_TDF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V1100)
VMS84I_UAF-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_USB-V0100	(VMS84I_UPDATE-V0900)
VMS84I_XFC-V0200	(VMS84I_UPDATE-V1000)

---

## インストールに関する注意事項

---

### 2.1 テストイメージおよびデバッグイメージのバックアップ

OpenVMS エンジニアリングに報告された問題をデバッグする過程で、お客様のシステムにデバッグイメージやテストイメージのインストールをお願いしている場合があります。通常これらのイメージには、OpenVMS の修正パッチプロセスによってリリースされるイメージと同様の生成フラグは付与されません。このため、SYS\$COMMON 領域に存在するデバッグイメージおよびテストイメージは、本キットでインストールされる同じ名前のイメージで置き換えられます。この場合、置き換えられたイメージで提供していた機能は失われることになります。これらのデバッグイメージあるいはテストイメージを残したい場合は、次のような操作を行ってください。

- 本キットをインストールする前に、保管するテストイメージ/デバッグイメージを SYS\$SPECIFIC 領域に移動してください。
- キットのインストール中、SYS\$SPECIFIC にあるイメージを削除するかどうか質問されます。ここで、残したいイメージに対しては NO と応答してください。
- インストールが完了した後、システムをリブートする前 (必要な場合) に、SYS\$SPECIFIC から SYS\$COMMON へそのイメージを戻してください。

---

### 2.2 圧縮ファイルの展開

本キットは自己解凍の ZIPEXE キットとして提供されています。このファイルをインストール可能な PCSI ファイルに展開する場合は、次のコマンドを実行してください。

```
$ RUN VMS84I_UPDATE-V1200.ZIPEXE
```

---

### 2.3 インストールのためのコマンド

本キットのインストールは、SYSTEM アカウントでログインして DCL プロンプトで次のように入力し、POLYCENTER Software Installation ユーティリティを使用し行ってください。

```
$ PRODUCT INSTALL VMS84I_UPDATE [ /SOURCE=キットの場所]
```

## インストールに関する注意事項

### 2.3 インストールのためのコマンド

なお、本キットは/SAVE\_RECOVERY\_DATA オプションが有効な状態でインストールされます。この修飾子を使用すると、何らかの問題が発生した場合にシステムからこのキットを簡単に削除することができます。このオプションを無効にしたい場合は、PRODUCT INSTALL コマンドで/NOSAVE\_RECOVERY\_DATA 修飾子を使用します。/SAVE\_RECOVERY\_DATA 修飾子の使用は任意ですが、使用することを強くお勧めします。

/SOURCE 修飾子には、このキットが含まれている CD あるいはディスク・ディレクトリを指定します。現在のディレクトリにキットが存在する場合にはこの修飾子の指定は省略できます。

PCSI キットのインストールに関するその他のヘルプ情報は、DCL プロンプトでHELP PRODUCT INSTALL と入力することにより参照できます。

---

## 2.4 インストール時のプロンプト表示の制御

本キットのインストール中、ユーザーによる応答が必要ないいくつかの質問が表示されます。質問に対して応答せずにインストールを自動化したい場合は、次のような論理名定義とコマンドを含んだ DCL コマンドプロシージャを作成する必要があります。

- バックアップに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE
```

- リブートに関する質問プロンプトを表示しないようにするには、次のように定義します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE
```

- \*.\*\_OLD の名前で置き換えられたファイルを保管しておく場合は、次の論理名を YES と定義してください。置き換えられたファイルの保管が必要ない場合は、次の論理名を NO と定義してください。なお、PRODUCT INSTALL コマンドで/SAVE\_RECOVERY\_DATA 修飾子を指定した場合 (指定することを推奨します)、置き換えられたすべてのファイルは保管されます。この場合、\*.\*\_OLD の保管を指定する必要はありません。

```
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO
```

- PRODUCT INSTALL コマンドに次の修飾子を追加して、DCL コマンドプロシージャを作成してください。

```
/PROD=HP/BASE=I64VMS/VER=V12.0 [ /SOURCE=キットの場所 ]
```

- 割り当てられた論理名を解除します。

```
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP  
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT  
$ DEASSIGN/JOB ARCHIVE_OLD
```

VMS84I\_UPDATE-V1200 キットをインストールするためのコマンドファイルの例を以下に示します。

```
$ DEFINE/SYS NO_ASK$BACKUP TRUE  
$ DEFINE/SYS NO_ASK$REBOOT TRUE  
$ DEFINE/JOB ARCHIVE_OLD NO  
$!  
$ PROD INSTALL VMS84I_UPDATE/PRODUCER=HP/BASE=I64VMS/VER=V12.0  
$!  
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$BACKUP  
$ DEASSIGN/SYS NO_ASK$REBOOT  
$!  
$ exit  
$!
```

---

## 2.5 VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットのインストールについて

VMS84I\_UPDATE-V1200 アップデートキットには VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットが統合されています。VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットには、SYSSACM 対応 (ACMELOGIN) のログインイメージと従来から提供されている SYSSACM 非対応の標準のログインイメージが含まれています。

VMS84I\_LOGINPLUS アップデートキットは、システムにインストールされている LOGINOUT.EXE および SETP0.EXE が SYSSACM 対応であるか SYSSACM 非対応であるかをインストール時に検出し、この結果をもとに SYSSACM 対応あるいは SYSSACM 非対応のいずれかのログインイメージを自動的に置き換えます。このため、どちらのバージョンのログインイメージをインストールするかをユーザーが選択する必要はありません。





---

## VMS84I\_UPDATE-V1200 キットで提供される新機能および解決される問題

この章では、VMS84I\_UPDATE-V1200 アップデートキットに含まれている各パッチキットで提供される機能、および修正される問題について説明しています。

なお、この章では、VMS84I\_UPDATE-V1200 アップデートキットで新たに提供されるパッチキットによる修正点のみを説明します。VMS84I\_UPDATE-V1200 アップデートキットは累積キットになっているため過去にリリースされたすべてのパッチキットが含まれていますが、以前のバージョンのアップデートキットで提供されたパッチキットによる修正については、それぞれのバージョンのアップデートキットのリリースノートを参照してください。

過去のアップデートキットのリリースノートについては、第4章を参照してください。

---

### 3.1 新機能

VMS84I\_UPDATE-V1200 アップデートキットにより提供される新機能を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該機能を提供するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

#### 3.1.1 VMS\$LPBEGIN-050\_STARTUP.COM に SSL1 スタートアップを追加

キット名：VMS84I\_MANAGE-V0200

新機能の説明：

新しいSSL1のスタートアップ・プロシージャがVMS\$LPBEGIN-050\_STARTUP.COMに追加され、システム起動時にSSL1のスタートアップが行われます。

関係するイメージ：

・ [SYS\$STARTUP]VMS\$LPBEGIN-050\_STARTUP.COM

## 3.2 解決される問題

VMS84I\_UPDATE-V1200 アップデートキットにより解決される問題を以下に示します。なお以降の各項の冒頭に、当該問題を解決するアップデートキット内のパッチキット名を示しています。

### 3.2.1 追加型バックアップの復元中に RMS-F-SYN エラー

キット名：VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

追加型バックアップの復元操作中に、ファイル名にクォート文字を含む ODS-5 ファイルを処理すると、BACKUP で次のエラーが発生します。

```
%RMS-F-SYN, file specification syntax error
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXE]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001272689

### 3.2.2 BACKUP/INTERCHANGE で、BACKUP-E-CREDIRERR エラー

キット名：VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

BACKUP/INTERCHANGE でバックアップ操作中に、ファイルを ODS-5 から ODS-2 に変換していると、以下のエラーが発生します。

```
%BACKUP-E-CREDIRERR, error creating directory $1$DKA100:[TEST]NEW.DIR;1
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXE]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001305995

### 3.2.3 バックアップは、大きなディレクトリでは ODS-5 を ODS-2 に完全に変換できません。

キット名： VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

90 ブロック以上の大きなディレクトリファイルの場合、ODS-5 ファイル名を ODS-2 ファイル名に完全に変換することができません。変換後、ANALYZE/DISK で以下のエラーが報告されます。

```
%ANALDISK-W-BADDIR, directory [DIRECTORY2] has invalid format  
-ANALDISK-I-BAD_DIRTYPE, invalid type code in directory record
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001355889

### 3.2.4 イメージバックアップで、ターゲットディスクへの復元後にマウントポイントを複製しない

キット名： VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

マウントポイントはメモリ上でファイルヘッダーのデータのみを変更し、マウントポイントファイルのディレクトリ構成のデータは変更しないため、BACKUP はイメージバックアップをターゲットディスクに復元した後、元のマウントポイントを複製することはできません。さらに、1つのディレクトリが複数のディスクにまたがってマウントされることもあります。そのため、BACKUP はイメージバックアップを復元しても元のマウントポイントを複製することができません。マウントポイントの設定は手動で行う必要があります。

BACKUP がマウントポイントに関するメッセージを出すように修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE
- ・ [SYSMSG]SYSMGTMSG.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM1001385027

### 3.2.5 BACKUP で

キット名： VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

この問題は、BACKUP の

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001387451

### 3.2.6 追加型バックアップの復元で%BACKUP-E-INCDELERR エラー

キット名： VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

追加型バックアップの復元において、65535 を超えるファイル ID を持つディレクトリやファイルを削除する必要がある場合に正常に機能しません。以下に示すエラーが発生し、追加型バックアップの復元は失敗します。

```
%BACKUP-E-INCDELERR, error deleting $15$DKA100:[CSL.DATA.BILL_IMAGE.0016.00016652]0023.DIR;1  
-SYSTEM-F-DIRNOTEMPTY, directory file is not empty
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXEC]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001419706

### 3.2.7 追加型バックアップの復元で%RMS-F-SYN エラー

キット名： VMS84I\_BACKUP-V0200

問題の説明：

追加型バックアップの復元において、ODS-5 ディスクの特殊文字を含むファイル名を持つディレクトリやファイルを削除する必要がある場合に正常に機能しません。以下に示すエラーが発生し、追加型バックアップの復元は失敗します。

```
%RMS-F-SYN, file specification syntax error
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXE]BACKUP.EXE
- ・ [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：

QXCM100143337

### 3.2.8 ファイルヘッダーの不完全なファイル名の訂正

キット名：VMS84I\_F11X-V0300

問題の説明：

ディスクの変換などにより、ディレクトリエントリ内のファイル名が正しいものの、対応するファイルヘッダーにあるファイル名が空または不完全または切り捨てられているようなファイルが存在することがあります。

例：次の2つのファイルで問題が発生しています。

```
TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] EMPTY_FILE.TXT  
TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] TRUNC_FILE.TXT
```

DIRECTORY コマンドは、これに対して正しいファイル名を表示します。しかし、DUMP/HEADER コマンドは、空ファイル名または切り詰めたファイル名を出力します。

```
$ DIR TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] EMPTY_FILE.TXT,  
TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] TRUNC_FILE.TXT
```

```
Directory TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES]
```

```
EMPTY_FILE.TXT;1 TRUNC_FILE.TXT;1
```

```
Total of 2 files.
```

```
$
```

```
$ DUMP/HEADER/BLOCK=COUNT=0 TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] *_FILE.TXT
```

```
Dump of file TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] EMPTY_FILE.TXT;1 on 7-NOV-2012 10:27:59.92
```

```
File name:
```

```
Dump of file TEST$DISK: [TEST.INCOMPLETE_FILES] TRUNC_FILE.TXT;1 on 7-NOV-2012 10:27:59.93
```

## VMS84I\_UPDATE-V1200 キットで提供される新機能および解決される問題

### 3.2 解決される問題

```
.  
File name:      .TXT  
.
```

このような場合には、システム管理者が、動的 SYSGEN パラメータ XQPCTLD7 のビット 4 (ビット 0 から開始、値 16) を設定した後に RENAME コマンドを使うことで、そのようなファイルを修正できるようにしました。

```
$ MCR SYSGEN  
SYSGEN> USE ACTIVE  
SYSGEN> SET XQPCTLD7 16  
SYSGEN> WRITE ACTIVE  
SYSGEN> EXIT  
$
```

もしリブートする場合には以下も可。

```
$ MCR SYSGEN  
SYSGEN> USE CURRENT  
SYSGEN> SET XQPCTLD7 16  
SYSGEN> WRITE CURRENT  
SYSGEN> EXIT  
$
```

それから、ファイルヘッダーの名前を次の RENAME コマンドにより訂正します：

```
$ RENAME <ABSOLUTE_FILE_PATH> <ABSOLUTE_FILE_PATH>
```

関係するイメージ：

- ・ [SYSSLDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSSLDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001238105

#### 3.2.9 F11BXQP でのスタック破壊による SSRVEXCEPT バグチェック

キット名： VMS84I\_F11X-V0300

問題の説明：

まれに、F11BXQP において "SSRVEXCEPT, Unexpected system service exception" というシステムクラッシュが起きます。このクラッシュは F11BXQP のスタック破壊のために発生します。スタックは、XQP (ファイルシステム) によって呼び出された \$ENQ 操作の Lock Status ブロック (LKSB) によって破損することがありました。

この問題は修正されました。

関係するイメージ :

- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001359636

### 3.2.10 ボリュームの拡張に対して ILLBLKNUM エラー

キット名 : VMS84I\_F11X-V0300

問題の説明 :

ディスクボリュームを 1.00TB ( 1024GB ) 以上に動的に拡張すると、  
"ILLBLKNUM, illegal logical block number"エラーが発生し、GPT.SYS のマッ  
プエリアに問題が発生することがあります。

```
$ set volume/size dsa55:  
%SET-E-NOTSET, error modifying _DSA55:  
-SYSTEM-F-ILLBLKNUM, illegal logical block number
```

この問題は修正されました。

関係するイメージ :

- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース :  
QXCM1001410966

回避策 :

ボリュームの拡張が 1TB 未満の場合には正しく動作します。

### 3.2.11 I/O データベースの Mutex 競合によるパフォーマンスの低下

キット名 : VMS84I\_F11X-V0300

問題の説明 :

負荷が大きな場合、I/O データベースの Mutex 競合が高くなっていました。ファイル  
システムの I/O データベースの Mutex の使用が、競合を減らすように最適化されまし  
た。その結果、Mutex の競合が大幅に軽減され、全体の実行時間が改善されていま  
す。

関係するイメージ :

- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

VMS84I\_UPDATE-V1200 キットで提供される新機能および解決される問題  
3.2 解決される問題

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001396751  
PTR 75-126-431

### 3.2.12 ディスククォータ使用の場合に F11BXQP で XQPERR バグチェック

キット名：VMS84I\_F11X-V0300

問題の説明：

ディスククォータ機能が有効で、ディスククォータのロックが非常に多い場合、クォータの古い Lock ID を使用して XQPERR バグチェックでクラッシュすることがありました。

```
Bugcheck Type:    XQPERR, Error detected by file system
VMS Version:      V8.4
Failing PC:       FFFFFFFF.80864F50    WRITE_QUOTA_C+00AEO
Failing PS:       00000000.00000002
Module:           F11BXQP    (Link Date/Time: 24-AUG-2012 14:23:12.47)
Offset:           0008BD50
```

クォータのキャッシュエントリ構造体で共通のロックステータスブロック (LKSB) を使用しており、ファイルシステムが古い Lock ID を取得して使用しようとするため、このバグチェックが発生することがありました。

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE
- ・ [SYSS\$LDR]F11BXQP.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001412060

### 3.2.13 ANALYZE/DISK 実行中にアクセス違反が発生

キット名：VMS84I\_F11X-V0300

問題の説明：

OpenVMS V8.4 では、ディレクトリ・エントリに不正な File-ID が含まれていると、ANALYZE/DISK コマンドでアクセス違反が発生することがありました。

この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYSEXE]VERIFY.EXE

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001337051



### 3.2.14 Intel 1G カードを搭載した Integrity サーバシステムで、ジャンボパケットを受信するとシステムクラッシュ

キット名： VMS84I\_LAN-V0500

問題の説明：

特定の Intel 1 ギガビットデバイス用の受信バッファサイズが正しくないため、巨大サイズのフレームを受信するとノンページプールが破壊されました。  
この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001428049

### 3.2.15 論理 LAN デバイスで、手動 LAN フェイルオーバーを実行すると、時々プライマリデバイスが起動しない

キット名： VMS84I\_LAN-V0500

問題の説明：

"MC LANCP SET DEVICE <論理 LAN デバイス名> /SWITCH"コマンドで手動 LAN フェイルオーバーを実行すると、時々プライマリデバイスが DOWN 状態のままになることがありました。  
この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.EXE
- [SYS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001393174  
QXCM1001420138

回避策：

この問題を回避するには、"MC LANCP UPDATE DEVICE/RESET <デバイス名>"コマンドでデバイスのリセットを行います。

### 3.2.16 VC モジュールの電源をオフ/オンすると、一部の LAN リンクがアップしない

キット名：VMS84I\_LAN-V0500

問題の説明：

VC モジュールの電源がオフにされてからオンになると、一部の LAN リンクが ONLINE にならないことがあります。この問題は、LAN リンクが論理 LAN フェールオーバーセットの一部として構成されている場合に発生します。  
この問題は修正されました。

関係するイメージ：

- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711\_MON.EXE
- ・ [SYS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB

この問題を報告している QuIX と PTR ケース：  
QXCM1001402827

回避策：

この問題を回避するには、"MC LANCP UPDATE DEVICE/RESET <デバイス名>"コマンドでデバイスのリセットを行います。

---

## OpenVMS Integrity V8.4 用の以前のアップデートキット についての情報

VMS84I\_UPDATE-V1200 キットは、これまでに OpenVMS Integrity V8.4 に対してリリースされたアップデートキットを含む累積キットになっています。本書の第 3 章では、今回新たに含まれるパッチキットに関する情報を提供していますが、以前のアップデートキットにも含まれているパッチキットに関する情報は、本キットと共にインストールされる以下のリリース・ノートで参照できます。

- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACMELDAP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ACRTL-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_BACKUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_BACKUP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DCL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DDTM-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DEBUG-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_DRIVER-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_ENCRYPT-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_F11X-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0700.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FIBRE\_SCSI-V0800.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_FORRTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0100.RELEASE\_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I\_IPC-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_IVMSLOA-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_JOBCTL-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LAN-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LDAP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LDAP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LIBOTS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LMF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOADSS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_LOGINPLUS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MANAGE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MANAGE-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MIME-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MOUNT96-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MSCP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_MUP-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RAMDISK-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_RMS-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SECSRV-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SHADOWING-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SORT32-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0400.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYS-V0600.RELEASE\_NOTES

- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_SYSLOA-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_TDF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UAF-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0200.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0300.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0500.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0600.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0700.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0800.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V0900.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V1000.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_UPDATE-V1100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_USB-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_XFC-V0100.RELEASE\_NOTES
- [SYSHLP]VMS84I\_XFC-V0200.RELEASE\_NOTES

これらをインストール前に参照したい場合は、次に説明するコマンドでキットから取り出すことができます。

- 一度にすべてのリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES VMS84I_UPDATE /VERSION=V12.0 -  
_ $ [/file=destination_directory]
```

- 特定のリリース・ノートを取り出すには、次のコマンドを使用します。

```
$ PRODUCT EXTRACT FILE VMS84I_UPDATE /VERSION=V12.0 -  
_ $ /SELECT=release_note_name [/DESTINATION=destination_directory]
```

個々の RELEASE\_NOTES ファイルの名前は次のコマンドで確認できます。

```
$ PRODUCT LIST VMS84I_UPDATE /VERSION=V12.0 /SELECT = *.RELEASE_NOTES
```

なお、VMS84I\_UPDATE-V0600 ~ VMS84I\_UPDATE-V1100 の日本語リリースノートについては、下記の URL の OpenVMS の Web サイトで提供されています。

<http://h50146.www5.hp.com/products/software/oe/openvms/manual/>



---

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

イメージファイルには、イメージ識別情報を付けています。

- [SYSEXEXE]ACC.EXE

イメージ名:	"ACC"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-16"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:08:23.55	チェックサム:	28484EA0

- [SYSS\$LDR]ACME.EXE

イメージ名:	"ACME"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:44.13	チェックサム:	C3398391

- [SYSEXEXE]ACMELOGIN\_LOGINOUT.EXE

イメージ名:	"LOGINOUT"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"LOGIN98 X-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:53:34.16	チェックサム:	FE609706

- [SYSEXEXE]ACMELOGIN\_SETP0.EXE

イメージ名:	"SETP0"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"LOGIN98 X-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:54:30.43	チェックサム:	42BF2AD2

- [SYSEXEXE]ACME\_SERVER.EXE

イメージ名:	"ACME_SERVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.58	チェックサム:	65AB664B

- [SYSEXEXE]AGENS\$FEEDBACK.EXE

イメージ名:	"AGENS\$FEEDBACK"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-32"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:46.56	チェックサム:	3371A610

- [SYSEXEXE]AUDIT\_SERVER.EXE

イメージ名:	"AUDIT_SERVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:17.11	チェックサム:	F21A75BC

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]AUTHORIZE.EXE

イメージ名:	"AUTHORIZE"	ビルド ID:	"0100000088"
ファイル ID:	"X-32"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-OCT-2012 11:29:04.25	チェックサム:	F0AE134D

- [SYSEXE]BACKUP.EXE

イメージ名:	"BACKUP"	ビルド ID:	"0100000198"
ファイル ID:	"V8.4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-JUN-2016 11:29:10.72	チェックサム:	8B354E95

- [SYSLIB]BACKUPSHR.EXE

イメージ名:	"BACKUPSHR"	ビルド ID:	"0100000198"
ファイル ID:	"V8.4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-JUN-2016 11:28:56.56	チェックサム:	8C6A9062

- [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COMPARE.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$COMPARE"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:09:59.35	チェックサム:	1CCCCAC3

- [SYSHLP.UNSUPPORTED]CDDVD\$COPY.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$COPY"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:09:39.02	チェックサム:	7C0C5E6

- [SYSEXE]CDDVD\$CP.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$CP"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 19:10:22.25	チェックサム:	D101AA6C

- [SYSMSG]CDDVD\$MESSG.EXE

イメージ名:	"CDDVD\$MESSG"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"CDDVD V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	28-NOV-2010 17:24:33.20	チェックサム:	33F0FBC8

- [SYSEXE]CDU.EXE

イメージ名:	"CDU"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"I01-11"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:17.42	チェックサム:	397B73B2

- [SYSMSG]CLIUTLMSG.EXE

イメージ名:	"CLIUTLMSG"	ビルド ID:	"0100000068"
--------	-------------	---------	--------------



ファイル ID:	"X-3"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-MAR-2012 10:35:25.65	チェックサム:	7B9DF1AC
• [SYSLIB]CLUE\$SDA.EXE			
イメージ名:	"CLUE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000105"
ファイル ID:	"X-71"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-APR-2013 11:44:16.65	チェックサム:	FE673015
• [SYS\$LDR]CNX\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"CNX\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:47.78	チェックサム:	7323B449
• [SYSEXEC]CONVERT.EXE			
イメージ名:	"CONVERT"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:35.15	チェックサム:	29501629
• [SYSLIB]CONVSHR.EXE			
イメージ名:	"CONVSHR"	ビルド ID:	"0100000125"
ファイル ID:	"X1-012"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-JAN-2014 12:34:24.82	チェックサム:	72C55201
• [SYSEXEC]COPY.EXE			
イメージ名:	"COPY"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.31	チェックサム:	46E9F9D
• [SYSLIB]DBG\$HA_KERNEL.EXE			
イメージ名:	"DBG\$HA_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:31.81	チェックサム:	F15DFC01
• [SYSLIB]DBG\$HA_MAIN.EXE			
イメージ名:	"DBG\$HA_MAIN"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:27.88	チェックサム:	26E710E6
• [SYSEXEC]DBGHK\$HOST_KERNEL.EXE			
イメージ名:	"DBGHK\$HOST_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:12.51	チェックサム:	E58D00ED

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]DBGHK\$PRCDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$PRCDUMP_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:15.06	チェックサム:	20F2A7EC

- [SYSEXE]DBGHK\$SYSDUMP\_KERNEL.EXE

イメージ名:	"DBGHK\$SYSDUMP_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:16.92	チェックサム:	B549FCE7

- [SYSMSG]DBGTBKMSG.EXE

イメージ名:	"DBGTBKMSG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:16.10	チェックサム:	18D626C7

- [SYSLIB]DCE\$LIB\_SHR.EXE

イメージ名:	"DCE\$LIB_SHR"	ビルド ID:	""
ファイル ID:	"DCE V3.2-100509"	リンカー ID:	"Linker I02-17"
リンク日時:	10-MAY-2010 02:54:11.62	チェックサム:	1E7AB502

- [SYSEXE]DCL.EXE

イメージ名:	"DCL"	ビルド ID:	"0100000086"
ファイル ID:	"X-55"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2012 12:39:40.87	チェックサム:	88EC702D

- [SYSLIB]DEBUG.EXE

イメージ名:	"DEBUG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:07.10	チェックサム:	243C847E

- [SYSLIB]DEBUGSHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:39.26	チェックサム:	F52B8527

- [SYSLIB]DEBUGSRVSHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGSRVSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:01.54	チェックサム:	E8516CBD

- [SYSLIB]DEBUGISHR.EXE

イメージ名:	"DEBUGISHR"	ビルド ID:	"0100000004"
--------	-------------	---------	--------------

ファイル ID:	"V8.4-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:19:16.02	チェックサム:	A088619A
• [SYSLIB]DEC\$BASRTL.EXE			
イメージ名:	"DEC\$BASRTL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V01-037"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:33:18.80	チェックサム:	75945AF4
• [SYSLIB]DEC\$FORRTL.EXE			
イメージ名:	"DEC\$FORRTL"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"V01-07.004"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-FEB-2012 12:58:49.90	チェックサム:	AFAA15AA
• [SYSLIB]DECC\$SHR.EXE			
イメージ名:	"DECC\$SHR"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	"V8.4-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-FEB-2014 13:26:38.13	チェックサム:	1B6520B5
• [SYSLIB]DECC\$SHRP.EXE			
イメージ名:	"DECC\$SHRP"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	"V8.4-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-FEB-2014 13:26:33.24	チェックサム:	F898B815
• [SYSEXEXE]DELETE.EXE			
イメージ名:	"DELETE"	ビルド ID:	"0100000171"
ファイル ID:	"X-05"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUL-2015 14:35:01.12	チェックサム:	AF6469D6
• [SYSEXEXE]DIFF.EXE			
イメージ名:	"DIFF"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:40.22	チェックサム:	2D361DA1
• [SYSEXEXE]DIRECTORY.EXE			
イメージ名:	"DIRECTORY"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:40.48	チェックサム:	4AE1F8CB
• [SYSLIB]DPML\$SHR.EXE			
イメージ名:	"DPML\$SHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"T01-018"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:15:22.89	チェックサム:	B2865D89

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]EDTSHR.EXE

イメージ名:	"EDTSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"1-050"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:15:26.98	チェックサム:	28651612

• [SYSEXEXE]EFI\$BCFG.EXE

イメージ名:	"EFI\$BCFG"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-43"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:59:54.84	チェックサム:	6F7BEF2A

• [SYSLIB]ENCRYPHR.EXE

イメージ名:	"ENCRYPHR"	ビルド ID:	"0100000065"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:30:31.13	チェックサム:	F1A8341D

• [SYSEXEXE]ENCRYPT\$AUTH.EXE

イメージ名:	"ENCRYPT\$AUTH"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:32:18.31	チェックサム:	9F234F4B

• [SYSMMSG]ENCRYPT\$\_MSG.EXE

イメージ名:	"ENCRYPT\$_MSG"	ビルド ID:	"0100000065"
ファイル ID:	"ENCRYPT V2.2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:32.41	チェックサム:	A147CE2E

• [SYSEXEXE]ERRFMT.EXE

イメージ名:	"ERRFMT"	ビルド ID:	"0100000128"
ファイル ID:	"X-23"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-FEB-2014 17:06:12.25	チェックサム:	2E07C213

• [SYSSLDR]ERRORLOG.EXE

イメージ名:	"ERRORLOG"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:03.30	チェックサム:	4696DD8F

• [SYSSLDR]EXCEPTION.EXE

イメージ名:	"EXCEPTION"	ビルド ID:	"0100000117"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-SEP-2013 14:38:10.26	チェックサム:	73DA03CA

• [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.EXE

イメージ名:	"EXCEPTION_MON"	ビルド ID:	"0100000117"
--------	-----------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	26-SEP-2013 14:38:14.43	チェックサム:	73DA03CA
• [SYSS\$LDR]EXEC_INIT.EXE			
イメージ名:	"EXEC_INIT"	ビルド ID:	"0100000178"
ファイル ID:	"X-217"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-SEP-2015 10:56:59.38	チェックサム:	7BBF1FC1
• [SYSS\$LDR]F11BXQP.EXE			
イメージ名:	"F11BXQP"	ビルド ID:	"0100000177"
ファイル ID:	"XQP V84R CFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-SEP-2015 16:08:36.13	チェックサム:	B0A83DA0
• [SYSEXE]F11CACP.EXE			
イメージ名:	"F11CACP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:16.63	チェックサム:	858832A3
• [SYSEXE]F11DACP.EXE			
イメージ名:	"F11DACP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:17.63	チェックサム:	12EC70DC
• [SYSEXE]FAL.EXE			
イメージ名:	"FAL"	ビルド ID:	"0100000119"
ファイル ID:	"X-10"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-OCT-2013 18:28:10.62	チェックサム:	883D24AB
• [SYSLIB]FC\$SDA.EXE			
イメージ名:	"FC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:51.03	チェックサム:	7E8D3293
• [SYSS\$LDR]FLT\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"FLT\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:50.37	チェックサム:	5DD7CEA3
• [SYSLIB]FLT\$SDA.EXE			
イメージ名:	"FLT\$SDA"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-8A1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:51.09	チェックサム:	63800810

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]HBAAPITEST.EXE

イメージ名:	"HBAAPITEST"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:47.37	チェックサム:	72A8076F

• [SYSLIB]HBA\_VMS.EXE

イメージ名:	"HBA_VMS"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:46.54	チェックサム:	70B70770

• [SYSLIB]I64\_CLUE\$SDA.EXE

イメージ名:	"I64_CLUE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-69"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:54.95	チェックサム:	8972E72D

• [SYSEXEXE]I64\_DBGHK\$HOST\_KERNEL.EXE

イメージ名:	"I64_DBGHK\$HOST_KERNEL"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"V8.4-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:13.42	チェックサム:	D4EC58D6

• [SYSLIB]ICC\$SDA.EXE

イメージ名:	"ICC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:17:47.51	チェックサム:	945326A5

• [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.EXE

イメージ名:	"IMAGE_MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:12.68	チェックサム:	102AE8D0

• [SYSLIB]IMGDMP.EXE

イメージ名:	"IMGDMP"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-72"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:09.05	チェックサム:	C088596

• [SYSEXEXE]INDICTMENT\_SERVER.EXE

イメージ名:	"INDICTMENT_SERVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:16.86	チェックサム:	3DA25BA

• [SYSEXEXE]INSTALL.EXE

イメージ名:	"INSTALL"	ビルド ID:	"0100000002"
--------	-----------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-AUG-2010 14:16:25.51	チェックサム:	E5727767
• [SYSLIB]IOGEN\$AVIO_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$AVIO_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:20.35	チェックサム:	983985BC
• [SYSLIB]IOGEN\$CISS_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$CISS_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-10"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:56:32.36	チェックサム:	1A93E0A7
• [SYSLIB]IOGEN\$FIBRE_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$FIBRE_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-39"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:49:45.45	チェックサム:	DDEB4425
• [SYSLIB]IOGEN\$ISA_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$ISA_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-21"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:07:19.51	チェックサム:	A82BC75
• [SYSLIB]IOGEN\$SCSI_CONFIG.EXE			
イメージ名:	"IOGEN\$SCSI_CONFIG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:20.56	チェックサム:	58D28E83
• [SYSSLDR]IO_ROUTINES.EXE			
イメージ名:	"IO_ROUTINES"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:58.90	チェックサム:	6E92E186
• [SYSSLDR]IO_ROUTINES_MON.EXE			
イメージ名:	"IO_ROUTINES_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:09:12.16	チェックサム:	CEAB8D9B
• [SYSEXEC]IPB.EXE			
イメージ名:	"IPB"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:48:33.26	チェックサム:	E4F3C354

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSEXEXE]IPB\_NOXDELTA.EXE

イメージ名:	"IPB_NOXDELTA"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:42.13	チェックサム:	8E9E08DD

• [SYSEXEXE]JBC\$JOB\_CONTROL.EXE

イメージ名:	"JBC\$JOB_CONTROL"	ビルド ID:	"0100000082"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-AUG-2012 13:49:47.73	チェックサム:	16861EF4

• [SYSLIB]LAN\$SDA.EXE

イメージ名:	"LAN\$SDA"	ビルド ID:	"0100000094"
ファイル ID:	"X-64"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-DEC-2012 10:06:48.61	チェックサム:	9EB6A973

• [SYSEXEXE]LANACP.EXE

イメージ名:	"LANACP"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:09.46	チェックサム:	981E18DE

• [SYSEXEXE]LANCP.EXE

イメージ名:	"LANCP"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-93"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:18:09.27	チェックサム:	28194A1

• [SYSLIB]LAT\$SHR.EXE

イメージ名:	"LAT\$SHR"	ビルド ID:	"0100000129"
ファイル ID:	"LAT\$SHR V2.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-MAR-2014 13:38:58.25	チェックサム:	36446126

• [SYSLIB]LBR\$SHR.EXE

イメージ名:	"LBR\$SHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"I01-42"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:03:54.62	チェックサム:	FCC80C2A

• [SYSLIB]LCK\$SDA.EXE

イメージ名:	"LCK\$SDA"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:37.95	チェックサム:	E9B49F54

• [SYSLIB]LDAP\$SHR.EXE

イメージ名:	"LDAP\$SHR"	ビルド ID:	"0100000150"
--------	-------------	---------	--------------



- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "LDAP V2.0-05000"       | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 29-NOV-2014 13:40:24.08 | チェックサム:  | EFBC208F        |
- [SYSLIB]LDAPACME\$LDAP-STD\_ACMESHR.EXE
 

イメージ名:	"LDAPACME\$LDAP-STD_ACMESHR"	ビルド ID:	"0100700123"
ファイル ID:	"LDAP-STD V01.05"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-DEC-2013 19:32:25.94	チェックサム:	1CF58060
  - [SYSEXE]LDAP\_LOAD\_LOCALUSER\_DATABASE.EXE
 

イメージ名:	"LDAP_LOAD_LOCALUSER_DATABASE"	ビルド ID:	"0100700123"
ファイル ID:	"LDAPACME V01.01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-DEC-2013 19:32:37.52	チェックサム:	EEB6188B
  - [SYSLIB]LIBOTS.EXE
 

イメージ名:	"LIBOTS"	ビルド ID:	"0100000156"
ファイル ID:	"V1.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-FEB-2015 14:36:23.97	チェックサム:	287E6FDE
  - [SYSLIB]LIBRTL.EXE
 

イメージ名:	"LIBRTL"	ビルド ID:	"0100000100"
ファイル ID:	"X01-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-FEB-2013 13:10:51.88	チェックサム:	992B8504
  - [SYSEXE]LMF.EXE
 

イメージ名:	"LMF"	ビルド ID:	"0100000103"
ファイル ID:	"X-26"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	21-MAR-2013 16:19:01.48	チェックサム:	E200B7CD
  - [SYSSLDR]LNM\$DEBUG.EXE
 

イメージ名:	"LNM\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:01.15	チェックサム:	5978A650
  - [SYSLIB]LNM\$SDA.EXE
 

イメージ名:	"LNM\$SDA"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:08:52.91	チェックサム:	677D3AF6
  - [SYSSLDR]LOCKING.EXE
 

イメージ名:	"LOCKING"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:38.85	チェックサム:	7606F20E

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.EXE

イメージ名:	"LOGICAL_NAMES"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:51.05	チェックサム:	45A4DBF

• [SYSEXEXE]LOGINOUT.EXE

イメージ名:	"LOGINOUT"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-54"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:53:32.77	チェックサム:	78A5B7E

• [SYSEXEXE]MACRO.EXE

イメージ名:	"MACRO"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"50-120-5-50F9M"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:12.29	チェックサム:	85290640

• [SYSEXEXE]MAIL.EXE

イメージ名:	"MAIL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V1.06"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:53.38	チェックサム:	7A9C36D0

• [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.EXE

イメージ名:	"MESSAGE_ROUTINES"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:47:00.72	チェックサム:	2E2247D9

• [SYSEXEXE]MIME.EXE

イメージ名:	"MIME"	ビルド ID:	"0100000074"
ファイル ID:	"V1.93"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAY-2012 13:19:40.01	チェックサム:	663A67EE

• [SYSEXEXE]MONITOR.EXE

イメージ名:	"MONITOR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-26"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:23.93	チェックサム:	AD6E966A

• [SYSLIB]MOUNTSHR.EXE

イメージ名:	"MOUNTSHR"	ビルド ID:	"0100000116"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2013 17:17:37.80	チェックサム:	C5546739

• [SYSEXEXE]MSA\$UTIL.EXE

イメージ名:	"MSA\$UTIL"	ビルド ID:	"0100000090"
--------	-------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:54.39	チェックサム:	520CDF5
• [SYSSLDR]MSCP.EXE			
イメージ名:	"MSCP"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-JAN-2012 16:13:28.11	チェックサム:	6E66B3B1
• [SYSEXEXE]MTAAACP.EXE			
イメージ名:	"MTAAACP"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-12"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:58.55	チェックサム:	97B1EE3E
• [SYSSLDR]NET\$CSMACD.EXE			
イメージ名:	"CSMACD - NETWORK MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:18:03.33	チェックサム:	CC2C9EF8
• [SYSEXEXE]OPCOM.EXE			
イメージ名:	"OPCOM"	ビルド ID:	"0100000080"
ファイル ID:	"X-16"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:04:07.81	チェックサム:	F3A17E70
• [SYSLIB]PE\$SDA.EXE			
イメージ名:	"PE\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-23"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 17:41:40.77	チェックサム:	AF74A4AB
• [SYSLIB]PKM\$SDA.EXE			
イメージ名:	"PKM\$SDA"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-JUL-2010 19:03:08.50	チェックサム:	7C814B0B
• [SYSLIB]PKR\$SDA.EXE			
イメージ名:	"PKR\$SDA"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:56.14	チェックサム:	E945AF58
• [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.EXE			
イメージ名:	"PRF\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:14.50	チェックサム:	B95D9D6F

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLIB]PRF\$SDA.EXE

イメージ名:	"PRF\$SDA"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-27"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:12:03.64	チェックサム:	5A37FC1

- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.EXE

イメージ名:	"PROCESS_MANAGEMENT"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:09:48.63	チェックサム:	385F616A

- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.EXE

イメージ名:	"PROCESS_MANAGEMENT_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:09:56.85	チェックサム:	CEF11C9D

- [SYSLIB]PTHREAD\$DBGSHR.EXE

イメージ名:	"PTHREAD\$DBGSHR"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V3.22-095"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:16:48.07	チェックサム:	7F892FAD

- [SYSLIB]PTHREAD\$RTL.EXE

イメージ名:	"PTHREAD\$RTL"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V3.22-095"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:16:47.68	チェックサム:	FCE15062

- [SYSEXEXE]QMAN\$QUEUE\_MANAGER.EXE

イメージ名:	"QMAN\$QUEUE_MANAGER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-3"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 17:41:09.01	チェックサム:	DDA8CCED

- [SYSEXEXE]QUEMAN.EXE

イメージ名:	"QUEMAN"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"X02-01"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:33:18.74	チェックサム:	39279152

- [SYSEXEXE]RECLAIM.EXE

イメージ名:	"RECLAIM"	ビルド ID:	"0100000005"
ファイル ID:	"X-6"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-FEB-2012 11:31:36.50	チェックサム:	19AFE135

- [SYSEXEXE]RECOVER.EXE

イメージ名:	"RECOVER"	ビルド ID:	"0100000096"
--------	-----------	---------	--------------

ファイル ID:	"X01-03"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:46:50.50	チェックサム:	2EF02AAC
• [SYSSLDR]RMS.EXE			
イメージ名:	"RMS"	ビルド ID:	"0100000124"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-DEC-2013 14:20:30.32	チェックサム:	A2AA88D4
• [SYSEXEXE]RMSREC\$SERVER.EXE			
イメージ名:	"RMSREC\$SERVER"	ビルド ID:	"0100000096"
ファイル ID:	"X-14"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-JAN-2013 11:46:53.10	チェックサム:	50A4A493
• [SYSEXEXE]SCACP.EXE			
イメージ名:	"SCACP"	ビルド ID:	"0100000080"
ファイル ID:	"X-38"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:03:57.49	チェックサム:	CB492413
• [SYSLIB]SDA\$SHARE.EXE			
イメージ名:	"SDA\$SHARE"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:48.72	チェックサム:	2389685D
• [SYSLIB]SDARMS\$SHARE.EXE			
イメージ名:	"SDARMS\$SHARE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-7"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:23.59	チェックサム:	386DE222
• [SYSEXEXE]SEARCH.EXE			
イメージ名:	"SEARCH"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X02-09"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:17:55.08	チェックサム:	B6C7EED9
• [SYSLIB]SECURESHR.EXE			
イメージ名:	"SECURESHR"	ビルド ID:	"0100000081"
ファイル ID:	"X-13"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-JUL-2012 12:31:09.37	チェックサム:	647BB1DE
• [SYSLIB]SECURESHRP.EXE			
イメージ名:	"SECURESHRP"	ビルド ID:	"0100000081"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-JUL-2012 12:31:08.05	チェックサム:	AD77852C

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSSLDR]SECURITY.EXE

イメージ名:	"SECURITY"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:07:54.55	チェックサム:	BD5291B5

• [SYSSLDR]SECURITY\_MON.EXE

イメージ名:	"SECURITY_MON"	ビルド ID:	"0100000167"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2015 15:08:18.91	チェックサム:	88775F95

• [SYSEXEXE]SECURITY\_SERVER.EXE

イメージ名:	"SECURITY_SERVER"	ビルド ID:	"0100000127"
ファイル ID:	" DEC Ada V3.5"	リンカー ID:	"Linker I02-38"
リンク日時:	5-FEB-2014 18:44:35.82	チェックサム:	3A685627

• [SYSEXEXE]SET.EXE

イメージ名:	"SET"	ビルド ID:	"0100000068"
ファイル ID:	"X02-00"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-MAR-2012 10:36:35.09	チェックサム:	D9FAA0C1

• [SYSEXEXE]SETP0.EXE

イメージ名:	"SETP0"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-3K2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-APR-2012 11:54:30.78	チェックサム:	215EB1E7

• [SYSEXEXE]SETSHOSERVER.EXE

イメージ名:	"SETSHOSERVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-2"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:35:25.04	チェックサム:	FCB8703F

• [SYSEXEXE]SETSHOSHADOW.EXE

イメージ名:	"SETSHOSHADOW"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-02"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:33:12.76	チェックサム:	193DDB00

• [SYSEXEXE]SHADOW\_SERVER.EXE

イメージ名:	"SHADOW_SERVER"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-29"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:32:36.94	チェックサム:	9A25FD67

• [SYSSLDR]SHELL16K.EXE

イメージ名:	"SHELL16K"	ビルド ID:	"0100000001"
--------	------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:10.39	チェックサム:	B1DC91B0
• [SYSS\$LDR]SHELL32K.EXE			
イメージ名:	"SHELL32K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:13.44	チェックサム:	73F34B95
• [SYSS\$LDR]SHELL64K.EXE			
イメージ名:	"SHELL64K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:15.75	チェックサム:	E62635F8
• [SYSS\$LDR]SHELL8K.EXE			
イメージ名:	"SHELL8K"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:05.90	チェックサム:	5C0A23FF
• [SYSEXEXE]SHOW.EXE			
イメージ名:	"SHOW"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-8"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:19:28.98	チェックサム:	20FA83BE
• [SYSEXEXE]SHWCLSTR.EXE			
イメージ名:	"SHWCLSTR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-27"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:59:12.78	チェックサム:	3A7043B9
• [SYSLIB]SMBSRVSHR.EXE			
イメージ名:	"SMBSRVSHR"	ビルド ID:	"0100000102"
ファイル ID:	"X-6"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-MAR-2013 11:31:21.86	チェックサム:	45E34BD3
• [SYSLIB]SMGSHR.EXE			
イメージ名:	"SMGSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"SMG\$ X1.0-001"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:56:20.10	チェックサム:	2DD21893
• [SYSLIB]SMI\$OBJSHR.EXE			
イメージ名:	"SMI\$OBJSHR"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X40-A9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:39.70	チェックサム:	929DFAF3

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYSLIB]SMI\$SHR.EXE

イメージ名:	"SMI\$SHR"	ビルド ID:	"0100000121"
ファイル ID:	"X01-04"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	22-NOV-2013 13:45:32.71	チェックサム:	517CA5CD

• [SYSEXE]SMISERVER.EXE

イメージ名:	"SMISERVER"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X01-15"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:55.06	チェックサム:	B3A64ED

• [SYSEXE]SMPUTIL.EXE

イメージ名:	"SMPUTIL"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-30"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:06.48	チェックサム:	4ECACE4

• [SYSEXE]SORTMERGE.EXE

イメージ名:	"SORTMERGE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V08-014"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:22.07	チェックサム:	25CCC85E

• [SYSLIB]SORTSHR.EXE

イメージ名:	"SORTSHR"	ビルド ID:	"0100000077"
ファイル ID:	"V08-013"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	18-JUN-2012 13:58:52.15	チェックサム:	2260F754

• [SYSLIB]SPL\$SDA.EXE

イメージ名:	"SPL\$SDA"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-43"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:11:24.22	チェックサム:	1E5B7D4B

• [SYSLDR]SWIS\$DEBUG.EXE

イメージ名:	"SWIS\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:31.00	チェックサム:	6B25B3D6

• [SYSLIB]SWIS\$SDA.EXE

イメージ名:	"SWIS\$SDA"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-2A1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:33.15	チェックサム:	81C15147

• [SYSLDR]SYS\$BASE\_IMAGE.EXE

イメージ名:	"SYS\$BASE_IMAGE"	ビルド ID:	"0100000141"
--------	-------------------	---------	--------------



ファイル ID:	"IA64 XCFR-J2I"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:29:41.12	チェックサム:	8358BD5D
• [SYSS\$LDR]SYSS\$CLUSTER.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$CLUSTER"	ビルド ID:	"0100000137"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-AUG-2014 13:38:53.44	チェックサム:	426EC51
• [SYSS\$LDR]SYSS\$CLUSTER_MON.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$CLUSTER_MON"	ビルド ID:	"0100000137"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-AUG-2014 13:39:09.02	チェックサム:	68C11B6A
• [SYSS\$LDR]SYSS\$CMDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$CMDRIVER"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:55.59	チェックサム:	C96897F
• [SYSS\$LDR]SYSS\$CTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$CTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:12.31	チェックサム:	53813CDB
• [SYSS\$LDR]SYSS\$DADDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$DADDRIVER"	ビルド ID:	"0100000169"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-JUN-2015 15:38:37.57	チェックサム:	72EF0DAC
• [SYSEXE]SYSS\$DAYLIGHT_SAVING.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$DAYLIGHT_SAVING"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"TDF V1.0-0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:37.11	チェックサム:	3E86631B
• [SYSS\$LDR]SYSS\$DKBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$DKBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000072"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-APR-2012 13:59:41.29	チェックサム:	7344110D
• [SYSS\$LDR]SYSS\$DKDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYSS\$DKDRIVER"	ビルド ID:	"0100000162"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	25-MAR-2015 13:03:45.86	チェックサム:	EDDE8A5A

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSS\$LDR]SYSS\$DNDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DNDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:36.29	チェックサム:	644C8CD6
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$DQDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DQDRIVER"	ビルド ID:	"0100000069"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-MAR-2012 18:18:57.12	チェックサム:	F8BE3F77
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$DZCDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$DZCDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:46.35	チェックサム:	ECE337BB
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$EHCIDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$EHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:08.54	チェックサム:	BB806079
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$EI1000.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$EI1000DRIVER"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:17.28	チェックサム:	7E4C0573
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$EI1000\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$EI1000DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:18.51	チェックサム:	C4576A33
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$EIDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$EIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-SEP-2010 16:28:07.44	チェックサム:	3EE9231A
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$EIDRIVER\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$EIDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-SEP-2010 16:28:07.87	チェックサム:	86A65966
  
- [SYSS\$LDR]SYSS\$EIGBTDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$EIGBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
--------	---------------------	---------	--------------

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:50:51.03	チェックサム:	B66A8957
• [SYSS\$LDR]SYSS\$ER57711.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:12.99	チェックサム:	7C4D33EC
• [SYSS\$LDR]SYSS\$ER57711_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:19.34	チェックサム:	7F83B8E3
• [SYSS\$LDR]SYSS\$EW5700.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW5700DRIVER"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:14.24	チェックサム:	AA0501E5
• [SYSS\$LDR]SYSS\$EW5700_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW5700DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:15.81	チェックサム:	86969DFC
• [SYSS\$LDR]SYSS\$EW57711.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:25.46	チェックサム:	EB59A528
• [SYSS\$LDR]SYSS\$EW57711_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EW57711DRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000192"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-MAY-2016 12:55:26.17	チェックサム:	CC507085
• [SYSS\$LDR]SYSS\$EWXFRAME.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EWXFRAMEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:17.81	チェックサム:	23C180CD
• [SYSS\$LDR]SYSS\$EWXFRAME_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$EWXFRAMEDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-OCT-2010 16:33:18.20	チェックサム:	B64AAAFCD

## 本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYS\$LDR]SY\$FGEDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$FGEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000098"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-FEB-2013 15:35:00.03	チェックサム:	A0517CD8

- [SYS\$LDR]SY\$GHDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GHDRIVER"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"DW V8.4-100903"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:59:16.70	チェックサム:	9D71158B

- [SYS\$LDR]SY\$GLDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GLDRIVERDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:47.42	チェックサム:	E58D5824

- [SYS\$LDR]SY\$GLDRIVER\_MON.EXE

イメージ名:	"SYS\$GLDRIVERDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	20-OCT-2010 18:18:50.51	チェックサム:	DC02EB42

- [SYS\$LDR]SY\$GSPBTDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GSPBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:27.30	チェックサム:	8D292EB3

- [SYS\$LDR]SY\$GSPDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$GSPDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:50:32.81	チェックサム:	B655810B

- [SYS\$LDR]SY\$HIDDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$HIDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:28.55	チェックサム:	16BEF158

- [SYS\$LDR]SY\$HUBDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$HUBDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:30.33	チェックサム:	86E3F8C1

- [SYS\$LDR]SY\$HWP0001.EXE

イメージ名:	"SYS\$HWP0001"	ビルド ID:	"0100000000"
--------	----------------	---------	--------------

- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-35"                  | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 14-MAY-2010 23:10:27.37 | チェックサム:  | 3083FF7         |
- [SYSS\$LDR]SYSSHWP0004.EXE
 

イメージ名:	"SYSSHWP0004"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:30.81	チェックサム:	BEFFC254
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IKUDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IKUDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:16:07.43	チェックサム:	3D49C68C
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IKXDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IKXDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:15:47.02	チェックサム:	8C69C757
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IMUDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IMUDRIVER"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"DW V8.4-101104"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-NOV-2010 18:16:13.84	チェックサム:	9FF28778
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$IPC\_SERVICES.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$IPC_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000115"
ファイル ID:	"V1.3-X03E-XCFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2013 15:22:32.40	チェックサム:	FFAB881E
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$KBDDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$KBDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:33.40	チェックサム:	5F935882
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$LAN"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:37.45	チェックサム:	5D4C63C6
  - [SYSS\$LDR]SYSS\$LAN\_CSMACD.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$LAN_CSMACD"	ビルド ID:	"0100000136"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	10-JUL-2014 17:19:39.89	チェックサム:	19C23370

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSS\$LDR]SYSS\$LASTDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$LASTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	6-JUL-2010 19:02:07.00	チェックサム:	EE4DD88B
- [SYSS\$LDR]SYSS\$LLDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$LLDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:08.84	チェックサム:	2F9ACFD8
- [SYSS\$LDR]SYSS\$MDDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$MDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000074"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	4-MAY-2012 13:19:43.36	チェックサム:	1319C9AB
- [SYSS\$LDR]SYSS\$MKDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$MKDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:07.12	チェックサム:	178ABECA
- [SYSS\$LDR]SYSS\$OHCIDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$OHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:36.05	チェックサム:	600DB6BD
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PCIE\_SUPPORT.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$PCIE_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:53.70	チェックサム:	BFFB6434
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PCI\_SUPPORT.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$PCI_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000000"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	14-MAY-2010 23:10:20.78	チェックサム:	DF096D31
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$PEDRIVER"	ビルド ID:	"0100000125"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-JAN-2014 12:35:08.23	チェックサム:	40CC2DC
- [SYSS\$LDR]SYSS\$PEDRIVER\_MON.EXE
 

イメージ名:	"SYSS\$PEDRIVER_MON"	ビルド ID:	"0100000125"
--------	----------------------	---------	--------------

ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-JAN-2014 12:35:10.41	チェックサム:	21B78BFA
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PGADRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGADRIVER"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:43.37	チェックサム:	A7BF9A35
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PGQBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGQBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:49:48.71	チェックサム:	A295000C
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PGQDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PGQDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:49:55.69	チェックサム:	AC4C7400
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKDDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKDDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	9-SEP-2011 13:36:15.09	チェックサム:	B514E52C
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKMBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKMBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:48:55.97	チェックサム:	87CBAC44
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKMDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKMDRIVER"	ビルド ID:	"0100000154"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	16-JAN-2015 13:49:26.95	チェックサム:	904E4821
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKRBTDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKRBTDRIVER"	ビルド ID:	"0100000073"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-APR-2012 20:44:43.99	チェックサム:	B05474E1
• [SYSS\$LDR]SYSS\$PKRDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$PKRDRIVER"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-NOV-2012 18:02:38.48	チェックサム:	E322DA7

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$PKWDRIVER"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	15-SEP-2010 15:51:10.63	チェックサム:	D54F31DE

• [SYS\$LDR]SYS\$PLATFORM\_SUPPORT.EXE

イメージ名:	"SYS\$PLATFORM_SUPPORT"	ビルド ID:	"0100000115"
ファイル ID:	"X-35"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2013 15:22:31.30	チェックサム:	641EA930

• [SYSEXE]SYS\$READ\_TIME\_ZONE\_RULE.EXE

イメージ名:	"SYS\$READ_TIME_ZONE_RULE"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"X-7"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:41.25	チェックサム:	1F71AED4

• [SYSLIB]SYS\$SETBOOTSHR.EXE

イメージ名:	"SYS\$SETBOOTSHR"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"SB V6.0-1"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:57:19.00	チェックサム:	53D38BCD

• [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SHDRIVER"	ビルド ID:	"0100000163"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	27-MAR-2015 13:32:50.69	チェックサム:	E07ACE65

• [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$SRDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:12.96	チェックサム:	51BE4C5

• [SYS\$LDR]SYS\$TRANSACTION\_SERVICES.EXE

イメージ名:	"SYS\$TRANSACTION_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000114"
ファイル ID:	"V2.1-X035-XCFR"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-AUG-2013 12:29:33.65	チェックサム:	877D55D7

• [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$UGDRIVER"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	23-MAY-2011 12:09:08.68	チェックサム:	A71A64C6

• [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.EXE

イメージ名:	"SYS\$UHCIDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
--------	-------------------	---------	--------------



ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:38.21	チェックサム:	70AD4BB8
• [SYS\$LDR]SYSS\$USBDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$USBDRIVER"	ビルド ID:	"0100000089"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-OCT-2012 17:14:31.87	チェックサム:	AAD4A2E2
• [SYS\$LDR]SYSS\$UTC_SERVICES.EXE			
イメージ名:	"SYS\$UTC_SERVICES"	ビルド ID:	"0100000126"
ファイル ID:	"DTSS T0.0-000"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-JAN-2014 10:33:28.01	チェックサム:	1CD4B7DC
• [SYS\$LDR]SYSS\$VLANDRIVER.EXE			
イメージ名:	"SYS\$VLANDRIVER"	ビルド ID:	"0100000094"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	7-DEC-2012 10:06:28.03	チェックサム:	A718E076
• [SYS\$LDR]SYSS\$VM.EXE			
イメージ名:	"SYS\$VM"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:54:45.90	チェックサム:	3E175CF2
• [SYS\$LDR]SYSS\$XFCACHE.EXE			
イメージ名:	"SYS\$XFCACHE"	ビルド ID:	"0100000130"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAY-2014 14:14:11.69	チェックサム:	6D151B5D
• [SYS\$LDR]SYSS\$XFCACHE_MON.EXE			
イメージ名:	"SYS\$XFCACHE_MON"	ビルド ID:	"0100000130"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	5-MAY-2014 14:14:22.70	チェックサム:	E0CB74B5
• [SYSEXE]SYSBOOT.EXE			
イメージ名:	"SYSBOOT"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-154"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:50.20	チェックサム:	22B8B7B1
• [SYSEXE]SYSGEN.EXE			
イメージ名:	"SYSGEN"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:48.59	チェックサム:	4F07F1F9

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

• [SYS\$LDR]SYSGETSYI.EXE

イメージ名:	"SYSGETSYI"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:29.79	チェックサム:	73E9C6B1

• [SYSEXE]SYSINIT.EXE

イメージ名:	"SYSINIT"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-128"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	8-AUG-2011 13:07:00.32	チェックサム:	2527AE0E

• [SYS\$LDR]SYSLDR\_DYN.EXE

イメージ名:	"SYSLDR_DYN"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:47:31.51	チェックサム:	7DCF2B47

• [SYSEXE]SYSMAN.EXE

イメージ名:	"SYSMAN"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X01-22"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:53:48.93	チェックサム:	AA73A266

• [SYSMSG]SYSMSGTMSG.EXE

イメージ名:	"SYSMSGTMSG"	ビルド ID:	"0100000172"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-JUL-2015 14:06:02.88	チェックサム:	66DAEEA9

• [SYSMSG]SYSMSG.EXE

イメージ名:	"SYSMSG"	ビルド ID:	"0100000069"
ファイル ID:	"X-9"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-JUL-2012 10:03:48.70	チェックサム:	9CA105D3

• [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_DEBUG"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:51.90	チェックサム:	2CB6F89A

• [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_PRIMITIVES"	ビルド ID:	"0100000141"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	17-SEP-2014 16:55:20.11	チェックサム:	341149A3

• [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.EXE

イメージ名:	"SYSTEM_PRIMITIVES_MIN"	ビルド ID:	"0100000141"
--------	-------------------------	---------	--------------

- |          |                         |          |                 |
|----------|-------------------------|----------|-----------------|
| ファイル ID: | "X-5"                   | リンカー ID: | "Linker I02-37" |
| リンク日時:   | 17-SEP-2014 16:55:32.88 | チェックサム:  | A2038794        |
- [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.EXE
 

イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:52.40	チェックサム:	161C2D6A
  - [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.EXE
 

イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION_MIN"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:50.40	チェックサム:	D14A8BAA
  - [SYSS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.EXE
 

イメージ名:	"SYSTEM_SYNCHRONIZATION_UNI"	ビルド ID:	"0100000001"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-SEP-2010 12:46:53.59	チェックサム:	D6B3BD38
  - [SYSEXE]TDF\$SET\_TIMEZONE.EXE
 

イメージ名:	"TDF\$SET_TIMEZONE"	ビルド ID:	"0100000145"
ファイル ID:	"TDF V1.0-0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	24-OCT-2014 15:57:45.59	チェックサム:	80AF45CC
  - [SYSS\$LDR]TR\$DEBUG.EXE
 

イメージ名:	"TR\$DEBUG"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-5"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:18:28.03	チェックサム:	52C5C475
  - [SYSLIB]TR\$SDA.EXE
 

イメージ名:	"TR\$SDA"	ビルド ID:	"0100000003"
ファイル ID:	"X-18"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	11-OCT-2010 15:18:28.48	チェックサム:	581D8D55
  - [SYSLIB]TRACE.EXE
 

イメージ名:	"TRACE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"V8.3-003"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-MAR-2011 12:16:03.43	チェックサム:	C71D9CD2
  - [SYSEXE]TYPE.EXE
 

イメージ名:	"TYPE"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	19-JUL-2011 16:50:54.13	チェックサム:	33BD59CC

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSTEST]UETINIT00.EXE

イメージ名:	"UETINIT00"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-48"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:24.84	チェックサム:	87C4672D

- [SYSLIB]USB\$SDA.EXE

イメージ名:	"USB\$SDA"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-34"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	1-JUL-2011 15:18:27.10	チェックサム:	BDAC4346

- [SYSEXEXE]VERIFY.EXE

イメージ名:	"VERIFY"	ビルド ID:	"0100000135"
ファイル ID:	"X-28"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	2-JUL-2014 14:05:27.75	チェックサム:	55E12EBE

- [SYSLIB]VMS\$FORMAT\_AUDIT\_SYSTEM.EXE

イメージ名:	"VMS\$FORMAT_AUDIT_SYSTEM"	ビルド ID:	"0100000004"
ファイル ID:	"X-20"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	3-JUN-2011 13:34:08.44	チェックサム:	2F17FA11

- [SYSLIB]VMS\$VMS\_ACMESH.R.EXE

イメージ名:	"VMS\$VMS_ACMESH.R"	ビルド ID:	"0100000090"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-38"
リンク日時:	29-OCT-2012 14:37:17.25	チェックサム:	2BDD6483

- [SYSEXEXE]VMSHELP.EXE

イメージ名:	"VMSHELP"	ビルド ID:	"0100000002"
ファイル ID:	"X-4"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	12-AUG-2010 14:58:20.35	チェックサム:	E616A288

- [SYSLIB]XFC\$SDA.EXE

イメージ名:	"XFC\$SDA"	ビルド ID:	"0100000110"
ファイル ID:	"V1.0"	リンカー ID:	"Linker I02-37"
リンク日時:	29-MAY-2013 11:28:20.00	チェックサム:	48DB616D

- [SYSUPD]ACCOUNTIN.HLP

- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.PDF

- [SYSHLP]ACMELDAP\_STD\_CONFIG\_INSTALL.TXT

- [SYSUPD]ACMELOGIN\_PREINSTAL\_UPGRADE.COM

- [SYSHLP]ACME\_DEV\_README.TXT

- [SYSUPD]ANALYZE.HLP

- [SYSUPD]AUTOGEN.COM

- [SYSUPD]AUTOGEN\_LM.COM
- [SYSUPD]BACKUP.CLD
- [SYSUPD]BACKUP.HLP
- [SYSLIB]BASIC\$STARLET.TLB
- [SYSMGR]BOOT\_OPTIONS.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG.COM
- [SYSMGR]CLUSTER\_CONFIG\_LAN.COM
- [SYSSLDR]CNX\$DEBUG.STB
- [SYSUPD]COPY.CLD
- [SYSUPD]CRTL.HLP
- [SYSLIB]CXXL\$ANSI\_DEF.TLB
- [SYSHLP]DBG\$HELP.HLB
- [SYSUPD]DCLDICT.HLP
- [SYSLIB]DECC\$RTLDEF.TLB (updated by DECC\$RTLDEF.FOR\_RELEASE)
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\$EXAMPLES.TXT
- [SYSUPD]ENCRYPT.CLD
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_3DES.C
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.ADA
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.BAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.FOR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.H
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.MAR
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PAS
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.PLI
- [SYSHLP.EXAMPLES.ENCRYPT]ENCRYPT\_DEF.R32
- [SYSSLDR]ERRORLOG.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION.STB
- [SYSSLDR]EXCEPTION\_MON.STB
- [SYSSLDR]EXEC\_INIT.STB
- [SYSSLDR]F11BXQP.STB
- [SYSSLDR]FLT\$DEBUG.STB
- [SYSEXE]FTP.EFI
- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL.COM

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSEXE]I64VMS\$PCSI\_INSTALL\_MIN.COM
- [SYSEXE]IFCONFIG.EFI
- [SYSSLDR]IMAGE\_MANAGEMENT.STB
- [SYSEXE]INS\_STARTUP.COM
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES.STB
- [SYSSLDR]IO\_ROUTINES\_MON.STB
- [SYSHLP]LANCP\$HELP.HLB
- [SYSS\$STARTUP]LDAPACME\$CONFIG-STD.INI\_TEMPLATE
- [SYSHLP.EXAMPLES]LDAP\_EXAMPLE.C
- [SYSEXE]LDAP\_LOCALUSER\_DATABASE.TXT\_TEMPLATE
- [SYSLIB]LIB.L32
- [SYSLIB]LIB.L64
- [SYSLIB]LIB.MLB
- [SYSLIB]LIB.R64
- [SYSLIB]LIB.REQ
- [SYSLIB]LIBOTS.OLB
- [SYSLIB]LIBOTS.STB
- [SYSUPD]LIBRARY.HLP
- [SYSLIB]LIBRTL.DSF
- [SYSLIB]LIBRTL.STB
- [SYSSLDR]LNMS\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]LOCKING.STB
- [SYSSLDR]LOGICAL\_NAMES.STB
- [SYSHLP]MAILHELP.HLB
- [SYSSLDR]MESSAGE\_ROUTINES.STB
- [SYSHLP]MSA\_UTIL\_HELP.HLB
- [SYSSLDR]MSCP.STB
- [SYSHLP]MSGHLP\$LIBRARY.MSGHLP\$DATA
- [SYSSLDR]NET\$CSMACD.STB
- [SYSEXE]OPCOM.STB
- [SYSEXE]PCSI\_EFIBACKUP.COM
- [SYSEXE]PCSI\_EFIINSTALL.COM
- [SYSEXE]PING.EFI

- [SYSSLDR]PRF\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT.STB
- [SYSSLDR]PROCESS\_MANAGEMENT\_MON.STB
- [SYSSLDR]RMS.STB
- [SYSSLDR]RMSDEF.STB
- [SYSEXEXE]ROUTE.EFI
- [SYSHLP]SCACP\$HELP.HLB
- [SYSHLP]SDA.HLB
- [SYSSLDR]SECURITY.STB
- [SYSSLDR]SECURITY\_MON.STB
- [SYSEXEXE]SHADOW\_SERVER.STB
- [SYSEXEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.PDF
- [SYSEXEXE]SHARED\_MEMORY\_APIS\_IN\_OPENVMS\_CRTL.TXT
- [SYSSLDR]SHELL16K.STB
- [SYSSLDR]SHELL32K.STB
- [SYSSLDR]SHELL64K.STB
- [SYSSLDR]SHELL8K.STB
- [SYSEXEXE]SHUTDOWN.COM
- [SYSLIB]SMGSHR.STB
- [SYSLIB]STARLET.MLB
- [SYSLIB]STARLET.R64
- [SYSLIB]STARLET.REQ
- [SYSLIB]STARLETPAS.TLB
- [SYSLIB]STARLETS.D.TLB
- [SYSSLDR]SWISS\$DEBUG.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CLUSTER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CLUSTER\_MON.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CMDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$CTDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DADDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DKDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DNDRIVER.STB
- [SYSSLDR]SYS\$DQDRIVER.STB

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSS\$LDR]SYS\$EHCIDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EI1000.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EI1000\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EIDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EIDRIVER\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW5700\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$EW57711DRIVER\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$FGEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$GHDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$GSPDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$HIDDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$HUBDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$IKUDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$IKXDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$IMUDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$IPC\_SERVICES.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$KBDDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$LAN.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$LAN\_CSMACD.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$LASTDRIVER.STB
- [SYSLIB]SYS\$LIB\_C.TLB
- [SYSS\$LDR]SYS\$LLDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$MEMORYDISK.DAT
- [SYSS\$LDR]SYS\$MKDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$OHCIDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$PEDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$PEDRIVER\_MON.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$PGADRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$PGQDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$PKDDRIVER.STB
- [SYSS\$LDR]SYS\$PKMDRIVER.STB



- [SYS\$LDR]SYS\$PKRDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$PKWDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$SHDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$SRDRIVER.STB
- [SYSLIB]SYS\$STARLET\_C.TLB
- [SYS\$LDR]SYS\$UGDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$UHCIDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$USBDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VLANDRIVER.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$VM.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$XFCACHE\_MON.STB
- [SYSHLP]SYSGEN.HLB
- [SYS\$LDR]SYSGETSYI.STB
- [SYS\$LDR]SYS\$LDR\_DYN.STB
- [SYSHLP]SYSMANHELP.HLB
- [SYSMSG]SYSMSG.STB
- [SYSUPD]SYSTEM.HLP
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_DEBUG.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_PRIMITIVES\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_MIN.STB
- [SYS\$LDR]SYSTEM\_SYNCHRONIZATION\_UNI.STB
- [SYSUPD]SYS\_PARAMETERS.HLP
- [SYSEXE]TCPIP4.EFI
- [SYS\$LDR]TR\$DEBUG.STB
- [SYSHLP]UAFHELP.HLB
- [SYSUPD]UTIL\_ROUTINES.HLP
- [SYS\$STARTUP]VMS\$CONFIG-050\_SHADOW\_SERVER.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$DEVICE\_STARTUP.COM
- [SYS\$STARTUP]VMS\$LPBEGIN-050\_STARTUP.COM
- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0200\_COVER.TXT

本アップデートキットで修正されるファイル一覧

- [SYSLIB]VMS84I\_UPDATE-V0500\_COVER.TXT
- [SYSUPD]VMSINSTAL.COM
- [SYSMSG]VMSINSTAL\_LANGUAGE.COM
- [SYSEXEC]VMS\_BCFG.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_LOADER.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_SET.EFI
- [SYSEXEC]VMS\_SHOW.EFI